

脇 芳美 議員  
新緑



### 小・中学生への熱中症対策は

空き家に付随する農地の取得に限り、下限面積要件を緩和しては

Q 今夏は、全国各地において、異常で危険な災害レベルの暑さが続いたが、小・中学校での熱中症対策はどうのようにしていったのか。

Q 農地を取得する際には農地法第3条第2項第5号の規定により、下限面積要件が設けられている。

A 昨今、空き家に付隨する農地の取得に限り、下限面積要件を緩和する自治体が全国的に増えているが、本市の対応は。



(教育長)

特に中学校の運動部活動については、部活動前の健康チェックを行い、長時間の練習を避け、定期的な休憩時間とこまめな水分補給をするようにしています。また、複数の指導者で監視し、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、保健室等で水分・塩分の補給、医療機関への搬送等適切な応急手当を行っています。

今後とも児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、各学校と連携し、熱中症予防に努めていきます。

(農業委員会事務局長)

Q 本市のPRを続けていく中で、他市との差別化を図ったPR戦略はあるのか。

A 東京や大阪での移住フェアにおいて、相談に来られた方からお聞きしたところによると、本市は、交通アクセスの良さや医療機関が充実している点について、本市に対し好意的な反応が得られています。なお、ターゲットとする年齢層については、実施する事業によりさまざまです。

本市としては、働くまちとしての強みや、さまざまな魅力を生かしつつ、より多くの皆様に、住みたい、子育てしたいと思つていただけるまちの実現に向け、引き続き、各種施策を総合的に展開し、人口減少の克服と地域活力の向上に取り組んでいます。

(市長)



(建設経済部長)

高松王越坂出線（県道16号線）の早期復旧を

東原 章 議員  
市民グループ未来の会



Q 7月の豪雨で王越町は孤立寸前となつた。坂出市内方面への道は通行可能となつたが、高松市方面への道は未だに通行止めとなつていて。道路の拡幅と落石防止柵等の設置、また、孤立しないためのトンネルの整備を含め、県へ要望していただきたい。

A 県において、今後、斜面の土砂等の落下を防止するための防護施設の設置や、斜面崩壊を防ぐ法面対策などが計画されており、早期の完成を目指していると聞いています。

本市としても、当該道路は市内と王越町を結ぶ重要な路線であり、快適な市民生活を支える根幹的な社会資本であることから、早期の本復旧に努めていただき、抜本的な整備手法も念頭に、今後、検討していくだけのよう、県に要望していただきたいと考えています。

本市としては、働くまちとしての強みや、さまざまな魅力を生かしつつ、より多くの皆様に、住みたい、子育てしたいと思つていただけるまちの実現に向け、引き続き、各種施策を総合的に展開し、人口減少の克服と地域活力の向上に取り組んでいます。